



● 音気楽団「はたおと・あそび」
機織り道具が奏でる音の旅



機織りの道具で音を奏でる楽団員の皆さん

10/5 機織り道具を使って音の世界を楽しむ「はたおと・あそび」が、実相寺（加悦）など丹後4会場で開催されました。

楽団員たちは、楽団長の鈴木昭男さんとともに9月に機工場を訪れ、機織り道具の音に耳をすませながら、音を探るワークショップに参加。当日はワークショップで見つけた表現をもとに、機織り道具を用いて繰り広げられる音の世界を奏でながら、丹後地域を巡りました。

● きものでぶらり♪ちりめん街道 2025
きもので楽しむ秋のちりめん街道



人力車や着物姿の来場者でにぎわうちりめん街道

10/12 国の重要伝統的建造物群保存地区である「ちりめん街道」で、秋の恒例イベント「きものでぶらり♪ちりめん街道 2025」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

ちりめん街道沿いの家屋では、手織り製品や和装小物、ハンドメイド雑貨、飲食ブースなどが並ぶ「街道市」が開かれたほか、人力車の乗車体験や、ちりめん街道の歴史を楽しく学べる

● 金色蚕糸神祭
丹後の織物文化の繁栄を願って



金色蚕糸神に感謝を込める参列者の皆さん

10/12 実相寺（加悦）において、養蚕・生糸・織物の守護神である金色蚕糸神に感謝をささげ、織物業界の繁栄を祈願する「金色蚕糸神祭」が厳かに執り行われました。

この祭は、毎年秋にちりめん街道のイベントに合わせて開催されており、織物事業者をはじめ、商工会や丹後織物工業組合などから約30人が参列。参列者は、蚕の供養と丹後地域の織物業界のさらなる発展を祈願しました。

「謎解きさんぽ」、手織り体験なども行われ、来場者はいつもとは違った街道の魅力を楽しみました。



着物姿のわんちゃん

また、旧加悦町役場庁舎では「音楽のあるまち よさの」と題した音楽ライブ、旧加悦鉄道加悦駅舎では子どもたちに人気の「ミニ SL 乗車体験」も実施され、子どもから大人まで笑顔あふれる1日となりました。



竹灯籠が設置された旧尾藤家住宅（前夜祭）

● 第35回丹後ブロック中学校駅伝競走大会
加悦中男子と橋立中女子が2連覇！



2区でトップ争いをする加悦中（左）と橋立中（右）のランナー

10/18 峰山総合公園において、「第35回丹後ブロック中学校駅伝競走大会」が開催され、熱いレースが展開されました。

本大会には、与謝野町内の3中学校を含む、丹後地域から12の中学校が出場。選手たちはたすきをつなぎながら、仲間の声援を背に高低差のあるコースを全力で駆け抜けました。大会では、各校の選手が日ごろの練習の成果を発揮し、最後まで粘り強く走り抜く姿が見られ、沿道からはチームメイトや保護者による温かい拍手と声援が送られました。

結果、男子の部で加悦中学校が2連覇、また、女子の部で橋立中学校が2連覇を達成しました。なお、本大会で6位入賞を果たした、加悦・江陽・橋立中学校が、11月8日に丹波自然運動公園で開催される「京都府中学生駅伝競走大会」に出場します。



● 第3回ふくしの㊦ ミニフェスタ
「ふくし」でつながる交流の輪



模擬店やキッチンカーが並ぶ会場

10/18 「第3回ふくしの㊦ ミニフェスタ（主催：社会福祉法人 よさのうみ福祉会）」が阿蘇シーサイドパークで開催され、約500人の来場者でにぎわいました。

キッチンカーや福祉事業所による製品販売などの模擬店が並び、かえでこども園や岩滝手話サークル、キッズダンスなどのステージ発表も行われました。多彩な催しで終始にぎわい、来場者同士の交流が広がる1日となりました。

● 第76回丹後織物求評会
未来へ織り継ぐ丹後の技



デザインあふれる生地が展示された会場

10/22 丹後織物工業組合において、丹後ちりめんをはじめとする丹後織物の品質向上と技術継承を目的に毎年行われている「第76回丹後織物求評会」が開催されました。

会場には、与謝野町や京丹後市から26社の174点を展示。「シボ」と呼ばれる凹凸のある伝統的な白生地や染色を施した新素材、デザイン性の高い意匠織りなどが並び、来場者らはテキスタイルの創造性を楽しんでいました。